



ウミガメの放流

(平成16年7月7日 撮影)

アカウミガメ保護活動は、昭和47年に保護監視員を設置し、保護活動に取り組んできました。昭和55年に国の天然記念物に指定され、現在は、5名のウミガメ保護監視員が上陸期間中、海岸を巡視し保護活動を行っています。

平成16年の状況（9月末日現在）は、上陸頭数は192頭、内産卵頭数は95頭、産卵個数は10,606個、ふ化頭数は5,232頭です。

ウミガメが安心して上陸・産卵できるように産卵シーズン前、御前崎小学校や御前崎中学校、市内の各種団体が海岸を清掃しております。また、近年、海岸の侵食に伴い、ボランティアを募り砂防工法の堆砂垣を行っています。

御前崎小学校では、カメラリーダーを中心に5年生全員でアカウミガメを飼育し毎年7月に放流しています。



編集委員会

若杉泰彦	副委員長	西島昌和	委員長	片渕一孝	大澤満	岩瀬初代	増田雅伸
------	------	------	-----	------	-----	------	------

- ◎新市が誕生して、早6ヵ月経過しました。本予算も執行され「御前崎市」としての総合開発計画によるまちづくりが新たにスタートしております。
 - ◎将来に向かって夢と希望をもつてすばらしいまちづくり、地域づくりに期待したいと思います。市民の皆さんの声を届けて下さい。
 - ◎今回は行事日程が多く、掲載できない行事は次号にて御報告致します。
 - ◎議会だよりも、市民の皆様親しみ、理解できるよう情報提供に努めてまいります。
- (K・K)

編集後記